

■協力団体■ このイベントは多くの団体のご協力により成り立っています。当日はそうした様々な団体を紹介するブースや資料をご覧いただけます。ぜひともご興味のある情報などを見て・聞いて、持ち帰って下さい。

- ・NPO法人寺子屋方丈舎（福島県会津若松市）
- ・NPO法人ネモチば不登校ひきこもりネットワーク（千葉県習志野市）
- ・特定非営利活動法人東京シューレ（東京都北区）
- ・学校法人東京シューレ学園東京シューレ葛飾中学校（東京都葛飾区）
- ・NPO法人いきはぐ（東京都立川市）
- ・ドリーム・フィールド（静岡県浜松市）
- ・NPO法人京田辺シュタイナー学校（京都府京田辺市）
- ・一般社団法人コアプラス（大阪府大阪市）
- ・NPO法人フォロ（大阪府大阪市）
- ・NPO法人フリースクールみなも（大阪府大阪市）
- ・フリースクール「ラヴニール」（大阪府大阪市）
- ・結空間（大阪府富田林市）
- ・認定NPO法人箕面こどもの森学園（大阪府箕面市）
- ・神戸フリースクール（兵庫県神戸市）
- ・NPO法人ふぉーらいふ（兵庫県神戸市）
- ・インターナショナル デモクラティックスクール まめの木（兵庫県篠山市）
- ・デモクラティックスクール・ネット（兵庫県神埼郡）

※全国地方公共団体コード順 同一自治体内は五十音順

- ・子ども支援塾ネット関西支部
- ・多様な学び保障法を実現する会
- ・多様な教育を推進するためのネットワーク
- ・日本シュタイナー学校協会
- ・NPO法人フリースクール全国ネットワーク

※五十音順

気になる団体はネットで団体名を

## ■会場へのアクセス■

### 大阪府立大学 I-siteなんば

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号 南海なんば第1ビル2・3階

- ・地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町駅（1番出口）」、東へ約450m、徒歩約7分
- ・地下鉄御堂筋線「なんば駅（5号出口）」、南へ約1,000m、徒歩約15分
- ・地下鉄堺筋線「恵美須町駅（1-B出口）」、西へ約450m、徒歩約7分
- ・南海電鉄「なんば駅（中央出口）」、南へ約800m、徒歩約12分
- ・南海電鉄高野線「今宮戎駅」、北へ420m、徒歩約6分



■申し込み方法■ 以下の申し込み用紙にご記入いただきFAXで送信していただくか、申し込みフォームよりお申し込み下さい。  
(申込みフォーム：<http://kokucheese.com/event/index/436035/>)

★ふりがな： ○参加希望人数：大人  名  
 ★代表者氏名： 子ども  名  
 ★E-Mail： ○TEL / FAX： /

★参加日数

・1日目参加希望  
 一般(2,000円)：  名、会員/学生(1,000円)：  名、子どもスペース(無料)：  名

・2日目参加希望  
 一般(1,500円)：  名、会員/学生(1,000円)：  名、子どもスペース(無料)：  名

・両日参加希望  
 一般(2,500円)：  名、会員/学生(1,500円)：  名、子どもスペース(無料)：  名

★参加希望イベント

・1日目  
 基調講演： 名  
 グループセッションA： 名 グループセッションB： 名  
 交流会(1,000円)： 名

・2日目 午前の分科会  
 A： 名 B： 名 C1： 名 D： 名

・2日目 午後の分科会  
 C2： 名 E： 名 F： 名 G： 名

★…必須項目 ○…任意項目  
 ※ご記入いただいた個人情報は、本イベントの目的の範囲外には使用致しません。

## ■お申込、問い合わせ先■

TEL：0721-25-5132（結空間内）  
 FAX：06-6946-1577（NPO法人フォロ FAX専用番号）  
 E-Mail：[kansai.manabi.forum@gmail.com](mailto:kansai.manabi.forum@gmail.com)

# 多様な学び実践研究フォーラム in 関西

第4回 ～これからの子育て・教育を考えるフォーラム～

2017年2月4日(土)・5日(日)

会場：大阪府立大学 I・Siteなんば 2F

定員：200名  
 参加費：

【一般】2月4日のみ…2,000円、2月5日のみ…1,500円、両日参加…2,500円

【多様な学び保障法を実現する会・多様な教育を推進するためのネットワーク会員/学生】1日参加…1,000円、両日参加…1,500円

【大阪府立大学の教員・学生】無料

【交流会（2月4日 18:00～）】別途1,000円

「今、あらためて教育の多様性について考える」というテーマで、多様な教育の存在や活動を、多くの方に知っていただくことを目指して開催する第4回目のフォーラムです。これまでの、与えられた教育を受けることが当然で、学校現場では一斉学習が行われることがほとんどでした。しかし、子どもたちは本来ユニークな存在であり、それぞれに合った教育方法は異なります。子どもたち一人ひとりの個性や学習ニーズに応え、自分を大切にしながら学んでいくためには、学校現場の教育方法が多様になることに加え、学校外の多様な学びの場がもっと増え、認められることが大切です。このイベントでは、学校内外の多様な教育の実践者と、そのような教育に関心のある人たちが情報を共有し、子どもたち一人ひとりに合った学びが提供できる社会を実現するためには、何が必要なのかを考える機会にしたいと思います。

## 2月4日 13:00～15:00 基調講演

『嫌われる勇氣』の岸見一郎先生とともに  
 これからの子育て・教育を考える

## 『アドラー心理学からみた自由に生きるヒント』

講師：岸見一郎さん



■岸見一郎氏プロフィール  
 哲学者  
 日本アドラー心理学会認定カウンセラー・顧問

■略歴  
 1956年、京都生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程満期退学(西洋哲学専攻)。専門の哲学に並行して、心理学のフロイト、ユングと並ぶアドラー心理学の第一人者。京都教育大学教育学部、甲南大学文学部、奈良女子大学文学部非常勤講師などを経て、現在、京都聖カトリック高等学校看護専攻科(心理学)非常勤講師。日本アドラー心理学会認定カウンセラー 日本アドラー心理学会顧問。

主な著書：『嫌われる勇氣』『幸せになる勇氣』（古賀史健と共著、ダイヤモンド社）  
 『生きづらさからの脱却 アドラーに学ぶ』（筑摩書房）、『アドラー 人生を生き抜く心理学』（NHK出版）  
 訳書にアドラー『人生の意味の心理学』（アルテ）、プラトン『ティマイオス・クリティアス』（白澤社）など多数。

## ■タイムスケジュール■

2月4日(土)		協力団体 ブース展示	子どもスペース
12:30	受付開始		
13:00	基調講演 アドラー心理学からみた自由に生きるヒント 岸見一郎さん		
15:00	休憩		
15:30	グループセッション		
17:30	終了		
18:00～	交流会		
2月5日(日)		協力団体 ブース展示	子どもスペース
9:00	受付開始		
9:30	午前の分科会		
11:30	休憩		
12:30	午後の分科会		
14:30	休憩		
14:45	全体のふり取り		
16:00			

グループセッション  
 分科会の詳細は  
 2・3ページへ！

主催：第4回多様な学び実践研究フォーラム実行委員会  
 大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科「教育問題特論」  
 共催：多様な学び保障法を実現する会・多様な教育を推進するためのネットワーク（おるたネット）

# 2月4日(土) 15:30~17:30 グループセッション

## セッションA：岸見一郎さん講演のシェアタイム+多様な学び入門

前半は、岸見一郎さんの講演を受け、その感想をシェアする時間です。  
 テーブルリーダーは、多様な学び場の実践者や研究者、当事者の方々。嫌われる勇気と学びの多様性や子どもの権利がどうつながってくるのか、考えるきっかけにいただければと思います。  
 後半は、「多様な学び入門」ということで、複数の大学で行われた多様な学びの授業の内容紹介をざっくばらんにお伝えします。

## セッションB：多様な学び場紹介&座談会

### 15:30~16:10 学び場紹介

多様な学びにはどんなものがあるのか、それぞれの特徴はどんなことなのか。  
 タイプの異なった5つの学び場の実践者が、実際の活動内容を通して紹介します。  
 様々な学びの場のスタイルを比較することで、ぴったり合う学びの場が見つかるかもしれません。

### 16:15~17:30 座談会

学び場紹介でお話いただいた実践者や団体ごとに分かれての座談会です。実践者、卒業生、保護者などと直接話ができます。分からないことや不安に思っていることなど何でもお気軽にお話しください。

# 2月5日(日) 9:30~11:30 午前の分科会

## 分科会A：多様な学びを問い直す —教育とは何か？

「学びの場を多様化すること」「子どものニーズに応えること」は、無条件に「良い」ことなのでしょうか。子どもに「やりたい場所で、やりたいことをやらせる」ことは「教育」といえるのでしょうか。「多様な学び」の意義を十分に認めつつ、一度立ち止まり、こうした「反語的」な問いについて考えてみたいと思います。この分科会では「教育」や「学校」に対する私たちの立場の違いを確認し、共有できる点を探りながら、「教育とは何か」という原理的な問いについて考えたいと思います。

## 分科会B：自己肯定感を 育む子育てとその支援

信州型自然保育を県の事業として後押しする長野県の取り組みや住民経営による年齢・校区を問わず夜間までの子どもの居場所づくりを行うワークレッシュ、生きることを楽しむ力をお家で育む全く新しいスタイルのおやこ保育園などを主催することもみらい探究社、シュタイナーをはじめとするオルタナティブ教育の実践などを紹介します。子育てのヒントとしてお役に立てればと思います。

発表者：  
 竹内延彦（長野県民文化部次世代サポート課次世代育成推進幹）  
 燈田礼子（NPO法人ワークレッシュ理事）  
 小竹めぐみ（合同会社子どもみらい探究社共同代表）  
 樋口早知子（くすのき園あびこシュタイナー幼稚園保育士）  
 西川友紀子（認定NPO法人箕面こどもの森学園 そらクラス担当保育士）  
 竹田康子（豊中メンテソロジー研究所主任）

## 分科会C1： 公教育とオルタナティブ教育のアウトプット —ちょっと先の未来を一緒に考えよう！

子どもたちとの間に育まれる信頼をベースに、公教育のフィールドで画期的な実践をされている方々をお招きしました。本分科会では、3人の方の実践とその裏にある想いを聴き、参加者の皆さんを交えてワールドカフェ形式で対話します。

公教育とオルタナティブ教育。不毛な二項対立の図式に陥ることなく、第3の未来へと軽やかにアウトプット！

実践報告者：江藤由布（近畿大学附属高等学校English Teacher・一般社団法人Organic Learning共同代表）  
 豊田哲雄（大阪府池田市立石橋南小学校）  
 橋本貴（大阪府岸和田市立小学校）  
 ファシリテーター：木脇嶺（一般社団法人コアプラス副代表理事）  
 グラフィック・ファシリテーター：鈴木さよ

## 分科会D：多様な学び保障の 法制化の現状と課題

教育機会確保法「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律案」は2016年5月に衆議院に上程、11月22日に衆議院を通過し、2016年中には成立の見込です。このことを受けて、私たちは、今、そしてこれからどのように考え、対応していったらよいのでしょうか？

「多様な学び保障法を実現する会」は、多様な学びの保障を求めて法制化を推進してきました。これまでの経過と現状、今後の課題について参加者のみなさんとごいっしょに考えていきたいと思っています。

発題者：奥地圭子（実現する会共同代表、フリースクール全国ネットワーク代表理事）  
 汐見稔幸（実現する会共同代表、白梅学園大学学長）  
 ほか

# 2月5日(日) 12:30~14:30 午後の分科会

## 分科会C2：越境するリフレクション —学び合う日常へのはじめての一步

最近気がかりなあの子、あの場面…そこにはきっと、本質的な気づきが隠されています。

本分科会では、新しいリフレクションの枠組みである「ALACTモデル」を活用し、参加者の皆さんの日常の一場面を多様な視点から振り返ります。自分や子どもの新しい一面にも、立場を越えた様々な人たちと学び合えば、きっと出会える…。

学び合う日常へのはじめての一步、一緒に踏み出ませんか？

ファシリテーター：濱大輔（認定NPO法人箕面こどもの森学園スタッフ）  
 グラフィック・ファシリテーター：鈴木さよ

## 分科会E：子どもの権利を考える —子どもの権利の現状

みなさんは「子どもの権利」をご存知でしょうか？  
 子どもの貧困が騒がれていますが、いま、日本の子どもたちに何が起きているのか、子どもの権利の視点から、現場で子どもたちとかかわっている方々にお話しいただき、現状に目を向け、私たちになにができるか、一緒に考えていきたいと思います。

話題提供者：  
 桜井智恵子（大阪大谷大学教授）  
 武田さち子（NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事）  
 ほか  
 コーディネーター：中尾安余（結空間）

## 分科会F：第3回オルタナティブな 学び教育研究会

研究者が多様な視点からオルタナティブな教育・学びを捉え直します。

・高山龍太郎（富山大学）：  
 「教育機会確保法案についての一考察」

・森田次朗（中京大学）：  
 「教育・学びの「多様性」はなぜ必要か——包摂/排除の諸問題とオルタナティブ性についての社会学的考察」

・宋美蘭（北海道大学）：  
 「韓国の代案教育運動と多様な学校と学び」

## 分科会G：オルタナティブな学びの場 —支えあう組織づくりに向けて

子どもに合わせて自前で学び場をつくりだす。出来合いの学校だけでなく、市民が手作りしていくオルタナティブな学びの場。それが、もっと容易につくれ、運営も安定し、社会的にも認められていくための、次のステップは何か。お互いがつながり支え合う組織づくりをスタートさせる時期にきているのではないのでしょうか。

コーディネーター：  
 吉田敦彦（日本シュタイナー学校協会）  
 藤田美保（認定NPO法人箕面こどもの森学園）